授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
小児看護学援助論Ⅱ	2年次	前期	2	30	有

科目責任者	小瀧　亜矢子
授業概要	小児の主要な症状と病態生理、主な検査データーと関連させながら基本的な小児看護展開方法を学ぶ。代表的事例として気管支喘息に罹患している小児、川崎病に罹患している小児について看護過程の展開を行う。
目標	1. 様々な状況にある子どもとその家族に対する看護の方法を理解できる 2. 事例を用いて発達段階・健康障害・健康の段階に応じたアセスメントができる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	出生時から集中治療が必要な子どもと家族への看護（ハイリスク新生児）	小瀧	講義
2	先天性疾患のある子どもと家族への看護(ダウン症候群)	小瀧	講義
3	感染症を持つ隔離が必要な子どもと家族への看護（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎等）	小瀧	講義
4	心身障害のある子どもと家族への看護（脳性麻痺）	小瀧	講義
5	活動制限を受ける子どもと家族の看護（骨折、先天性股関節脱臼）	小瀧	講義
6	慢性期（成人移行期）にある子どもと家族の看護　（Ⅰ型糖尿病）	小瀧	講義
7	慢性期にある子どもと家族の看護（ネフローゼ）	小瀧	講義
8	気管支喘息を持つ子どもと家族への看護	小瀧	講義
9	気管支喘息を持つ子どもと家族のアセスメント	小瀧	演習
10	川崎病を持つ子どもと家族への看護	小瀧	講義
11	川崎病を持つ子どもと家族のアセスメント	小瀧	講義・演習
12	川崎病を持つ子どもと家族のアセスメント	小瀧	演習
13	川崎病を持つ子どもと家族のアセスメント	小瀧	演習
14	川崎病を持つ子どもと家族のアセスメント・発表	小瀧	演習
15	試験	小瀧	演習

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学〔1〕　小児看護学概論 小児臨床総論 医学書院　　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学〔2〕　小児臨床看護各論　医学書院
参考書	なし
評価方法	試験（100%）